

第2回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「地域のビジョンづくり」

日時 令和元年8月3日(土) 10時00分～12時00分

会場 奈良県立万葉文化館

資料説明	荒井奈良県知事
	<p>奈良が良くなってきたと言われることがありますが、これはありがたいことだと思います。しかし、これでいいわけではなく、これまでの歩みを確認して、これから歩むべき道筋を探索する作業が必要となります。これからの奈良について、市町村長も一緒に議論をしませんかというのが、今日の会議の趣旨です。</p> <p>まず、これまでの奈良県の立ち位置ですが、奈良県では急速な人口減少や高齢化が進むとともに、県外就業率も全国トップクラスであり、成熟したベッドタウンにおける諸課題が発生している状況です。</p> <p>こういった諸課題に対応するため、県では、増加する高齢者の医療・介護・健康増進やいきがづくり、子どもたちが将来働ける場所の確保、子育て支援等を行っています。</p> <p>例えば、医療・介護・健康増進の分野では、全国のモデルとなる地域医療構想を推進するため、断らない病院と面倒見のいい病院の充実、ドクターヘリの運航、医療の見える化として、県内拠点病院等のがん治療実績の公表を進めています。奈良県では、救急医療が不足していましたが、少しずつ改善しています。高度医療も進んでおり、がんの75歳未満年齢調整死亡率は減少し、全国6位まで改善しました。</p> <p>また、地域包括ケア、在宅医療、看取りまでを地域で確保出来る試みを実施しています。</p> <p>ここでお示ししている奈良新『都』づくり戦略(案)は、奈良発展の目標と道筋について、県民の皆様と議論を深めるためのたたき台です。今後、このような議論を行い、県民の皆様からご意見をいただいて、さらに戦略を進化させたいと思っています。</p>

資料説明	森下橿原市長
	<p>橿原市では、恵まれた鉄道や道路ネットワークの交通利便を活かし、多くの人が行き交う交流人口や関係人口を増やしていきたいと考えています。</p> <p>人や文化が交わるまちとして、世界遺産登録を目指す藤原宮跡や江戸時代からの古い町並みが残る今井町の更なる活用を図ります。</p> <p>また、橿原運動公園の多目的グラウンドを人工芝生化し、市民のスポーツ振興や健康増進を図るとともに、近隣の施設とも連携し、周辺エリアの活性化につなげます。</p> <p>今後も近隣の市町村と連携し、地域の要衝としての役割を果たしていきたいと考えています。</p>

意見	荒井奈良県知事
	<p>橿原市は道路と鉄道の交通の要衝であり、民間も公的にも投資効果が高く、それを充分利用し、橿原市の発展につなげていくことがポイントの一つだと思います。そのための行政の役割は環境整備です。</p> <p>橿原市が交通要衝という地域性等を今後のまちの発展にどのようにつなげていくかと</p>

というのは、総合計画をつくられるようなので期待しています。

資料説明	植村高取町長
<p>高取町発展ビジョンとして、子育て世代が暮らしやすいまち、そして住み続けたいまちを目指し、教育環境の充実と関係人口の拡大に焦点を当てた施策を進めています。</p> <p>教育環境の充実を図る取組として、エアコンの設置、老朽化した給食センターの移転・新築等のハード整備を進めるとともに、ソフト面では特別支援教育支援員や外国語指導助手を充実させて、子どもたちをサポートしています。</p> <p>また、まちづくりの面では、本年、県とともにまちづくり基本計画を策定し、土佐街道でのグリーンスローモビリティ等の新交通システムの実証実験や無電柱化の検討、高取城跡の保存活用に取り組みます。</p> <p>今後も、県や橿原市、明日香村と連携を強化し、取組を積極的に進めます。</p>	

意見	荒井奈良県知事
<p>高取町の資源を生かした高取ブランドをつくるのが人を呼ぶ場合の認知につながると思います。また、その材料となりうる高取城跡は、県も整備に力を入れていきたいと思っています。</p>	

資料説明	森川明日香村長
<p>明日香村発展ビジョンとして、滞在型観光を進めて、新たな雇用、経済効果を生み出すことを目指しています。</p> <p>歴史的・文化的遺産、あるいは景観、伝統行事等、村全体の価値を活用した活力ある村にするために、行政と住民間だけでなく、大学や企業と連携協定を締結して取り組んでいます。</p> <p>また、飛鳥宮跡の整備等、価値ある文化財の「見える化」を県や国と役割分担し、取り組みたいと思います。</p> <p>その中で、世界へ発信していくために、2025年の万博までに世界遺産登録となることを目標とし、世界ブランドとしてまとめていくのが我々の今の取組です。</p>	

意見	荒井奈良県知事
<p>世界遺産登録をもっと大きなテーマにすべきであり、県でも推薦書の作成に取り組めますが、来年度が勝負と思っています。世界遺産登録のために、地域の文化財をつなぐストーリーをつくり、その中で価値を証明すること等が課題だと思います。</p>	